

科目名	図画工作						
	【卒業必修】【保育士必修】【幼稚園教諭二種必修】						
授業形態	演習	学年	1年	開講時期	前期	単位数	1単位
担当教員	葉山 亮三						

内容および計画	図画工作における表現とは形や色、材料などに係わりながら、描いたり、作ったりする造形活動を通して、発想や構想の能力、創造的な技能を高めるものである。図画工作 では主に立体造形を取り扱う。第2回から9回では、基本の道具の扱い方から始まり、紙、木、粘土、石、金属といった材料を基に造形遊びをすることで、材料の特性を活かした発想や、それらを扱う技能を身につける。第10回から14回では、これまでに身につけた発想、技能を活かし、テーマに基づき、自分の表したいことを形にする。これにより感じたこと、想像したことを、形にする構想の能力、創造的な技能を高める。また自分たちの活動を振り返ることで鑑賞の能力を養う。
1	発想トレーニング ~形に合わせて描く~
2	道具の理解1 刃物 ~切ってみる、削ってみる~
3	道具の理解2 紐 ~紐を作る、紐を纏る~
4	形と構造1 四角を使って ~結んで作る、丈夫に作る~
5	形と構造2 円を使って ~独楽作り~
6	素材への理解1 よく見る、触る ~石を削って、磨いて作る~
7	素材への理解2 よく見る、触る、探す ~粘土を探す、作る~
8	可塑性の表現1 粘土 ~土器を作る~
9	可塑性の表現2 金属 ~鍛金、打ち出す形~
10	構成表現1 リピテーション ~洗濯バサミをつないで~
11	構成表現2 スタビール ~紙を使って立体工作~
12	構成表現3 モビール ~ゆれる形~
13	インスタレーション1 ~紐を結んで、蜘蛛の巣作り~
14	インスタレーション2 ~新聞紙で遊ぶ~
15	まとめ ~図画工作の表現とは~

教科書	
-----	--

参考書	『大きな羊のみつけかた「使える」美術の話』 齋正弘 著 メディアデザイン 発行 『木をかこう』 ブルーノ・ムナーリ 作 須賀敦子 訳 有限会社・至光者 発行 『芸術あそび』 ウド・リーベルト 著 長田謙一・吉田宏 監修 日本文教出版 発行 『図画工作科研究』 藤江充 佐藤洋照 編著 日本文教出版 発行 『幼稚園教育要領<平成20年告示>』 文部科学省 『小学校学習指導要領<平成20年告示>』 文部科学省 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 『小学校学習指導要領解説』 文部科学省
-----	--

成績評価	評価方法	割合
	作品、リアクション・ペーパー	70 %
	レポート	15 %
	試験結果	15 %

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの造形素材、技法及び道具について基本的な扱い方を身に付ける 演習を通じて、発想力を豊かにし、素材を活かして表現する こどもの表現を理解し、指導する力を得る。
--------	--

先修条件	
------	--

その他	
-----	--